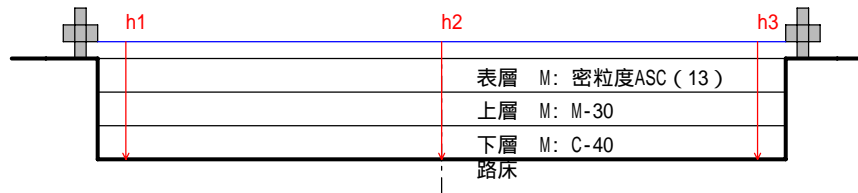


# 出来形管理図

測定箇所	h1			h2			h3			延長			摘要
	-5 0	± 0	+5 0	-5 0	± 0	+5 0	-5 0	± 0	+5 0	-2 0	± 0	+2 0	
BP													
BP+1.736													
BP+6.000													
BP+12.00													
BP+17.00													
NO.1													
NO.1+3.000													
NO.1+5.500													
NO.1+14.000													
NO.1+18.000													
NO.2													
NO.2+6.000													

~ 検測位置図 ~

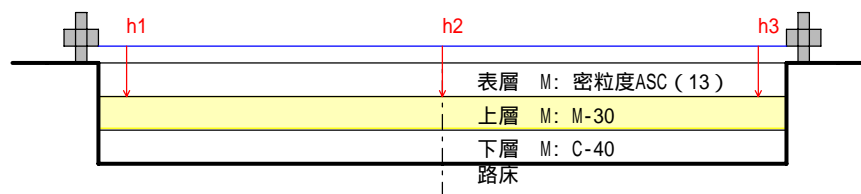


工種	路床
図面名	
請負会社	ウェストフィールド(株)
作成者	土木 一郎
測定者	日本太郎

# 出来形管理表

測定箇所	h1			h2			h3									摘要
	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	
BP	150	156	6	112	117	5	150	155	5							
BP+1.736	150	152	2	112	113	1	150	154	4							
BP+6.000	150	154	4	112	112	0	150	151	1							
BP+12.00	150	151	1	112	113	1	150	153	3							
BP+17.00	150	150	0	112	114	2	150	152	2							
NO.1	150	154	4	112	114	2	150	152	2							
NO.1+3.000	150	150	0	112	112	0	150	150	0							
NO.1+5.500	150	151	1	112	113	1	150	151	1							
NO.1+14.000	150	153	3	112	113	1	150	151	1							
NO.1+18.000	150	154	4	112	112	0	150	150	0							
NO.2	150	155	5	112	116	4	150	154	4							
NO.2+6.000	150	152	2	112	114	2	150	154	4							

~ 検測位置図 ~

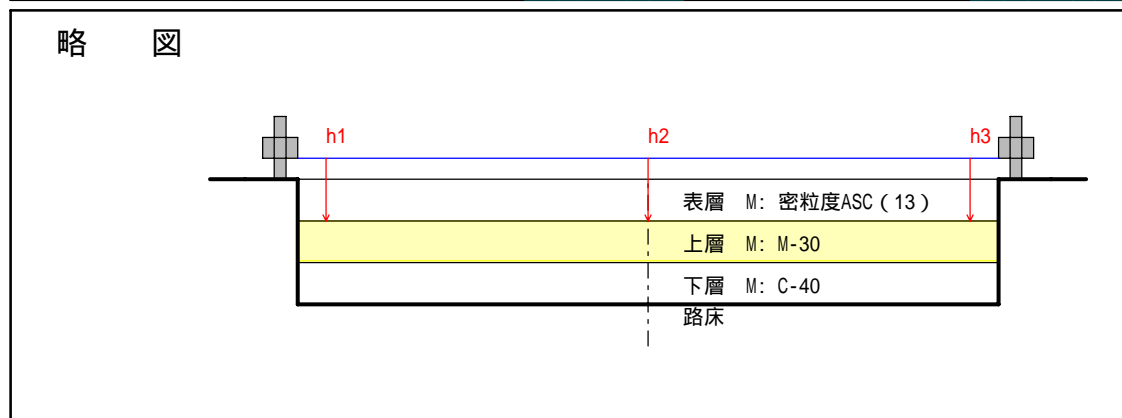


工種	上層
図面名	
請負会社	ウェストフィールド(株)
作成者	土木 一郎
測定者	日本太郎

# 出来形管理図

工事名 国道 ×号線改良工事

測定箇所	h1 (規格値)			(-)設計値(+)			h2 (規格値)			(-)設計値(+)			h3 (規格値)			(-)設計値(+)			(規格値)			(-)設計値(+)			
	設計値	測定値	差	5	0	5	設計値	測定値	差	5	0	5	設計値	測定値	差	5	0	5	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	
BP	150	156	6				112	117	5				150	155	5										
BP+1.736	150	152	2				112	113	1				150	154	4										
BP+6.000	150	154	4				112	112	0				150	151	1										
BP+12.00	150	151	1				112	113	1				150	153	3										
BP+17.00	150	150	0				112	114	2				150	152	2										
NO.1	150	154	4				112	114	2				150	152	2										
NO.1+3.000	150	150	0				112	112	0				150	150	0										
NO.1+5.500	150	151	1				112	113	1				150	151	1										
NO.1+14.000	150	153	3				112	113	1				150	151	1										
NO.1+18.000	150	154	4				112	112	0				150	150	0										
NO.2	150	155	5				112	116	4				150	154	4										
NO.2+6.000	150	152	2				112	114	2				150	154	4										
NO.2+10.000	150	150	0				112	115	3				150	151	1										
NO.2+15.000	150	150	0				112	115	3				150	152	2										
NO.3	150	156	6				112	115	3				150	154	4										
NO.3+5.000	150	155	5				112	114	2				150	150	0										

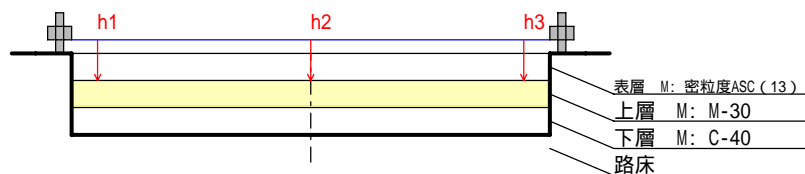


項目	規格値	平均値 (X̄)
h1		
h2		
h3		
工 種	上層	
図 面 名		
請 負 業 者	ウェストフィールド(株)	
作 成 者	土木 一郎	
測 定 者	日本太郎	

## 上層 出来形管理結果表

工事名 国道 ×号線改良工事

工事箇所 埼玉県



現場代理人 日本太郎 印

測定者 日本太郎 印

測定位置 測点	h1 (規格値)			h2 (規格値)			h3 (規格値)			(規格値)		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
BP	150	156	6	112	117	5	150	155	5			
BP+1.736	150	152	2	112	113	1	150	154	4			
BP+6.000	150	154	4	112	112	0	150	151	1			
BP+12.00	150	151	1	112	113	1	150	153	3			
BP+17.00	150	150	0	112	114	2	150	152	2			
NO.1	150	154	4	112	114	2	150	152	2			
NO.1+3.000	150	150	0	112	112	0	150	150	0			
NO.1+5.500	150	151	1	112	113	1	150	151	1			
NO.1+14.000	150	153	3	112	113	1	150	151	1			
NO.1+18.000	150	154	4	112	112	0	150	150	0			
NO.2	150	155	5	112	116	4	150	154	4			
NO.2+6.000	150	152	2	112	114	2	150	154	4			
NO.2+10.000	150	150	0	112	115	3	150	151	1			
NO.2+15.000	150	150	0	112	115	3	150	152	2			

# 上層 高さ測定

工 事 名 国道 ×号線改良工事

測定年月日

種 別

測 定 者 日本太郎

測 定 年 月 日	測 定 箇 所		計 画 高	実 測 高	高 低 差	適 用
	測 点	位 置				
	BP	h1	150	156	+6	
		h2	112	117	+5	
		h3	150	155	+5	
	BP+1.736	h1	150	152	+2	
		h2	112	113	+1	
		h3	150	154	+4	
	BP+6.000	h1	150	154	+4	
		h2	112	112	±0	
		h3	150	151	+1	
	BP+12.00	h1	150	151	+1	
		h2	112	113	+1	
		h3	150	153	+3	
	BP+17.00	h1	150	150	±0	
		h2	112	114	+2	
		h3	150	152	+2	
	NO.1	h1	150	154	+4	
		h2	112	114	+2	
		h3	150	152	+2	

(注) (1) 「位置」欄には左側、中心、右側を各々L・C・Rで表わし、L及びRの場合は中心からの距離も記入する。

(2) 「高低差」欄は計画高に対し実測高が高い場合は「+」、低い場合は「-」の符号を付して表わすこと。

# 路 盤 厚 さ 測 定

工 事 名 国道 x号線改良工事

測定年月日

路盤の種類 上層

測 定 者 日本太郎

(注 距離は中心から)

(注 50m以内に1ヶ所)

	測 定 箇 所			設 計 値 ( mm )	測 定 値 ( mm )	増 減 差 ( + - ) mm	適 要
	測 点	位 置	距離 m				
1	NO.1	h1		150	154	+4	
2		h2		112	114	+2	
3		h3		150	152	+2	
4	NO.1+3.000	h1		150	150	±0	
5		h2		112	112	±0	
6		h3		150	150	±0	
7	NO.1+5.500	h1		150	151	+1	
8		h2		112	113	+1	
9		h3		150	151	+1	
10	NO.1+14.000	h1		150	153	+3	
11		h2		112	113	+1	
12		h3		150	151	+1	
13	NO.1+18.000	h1		150	154	+4	
14		h2		112	112	±0	
15		h3		150	150	±0	

記 事



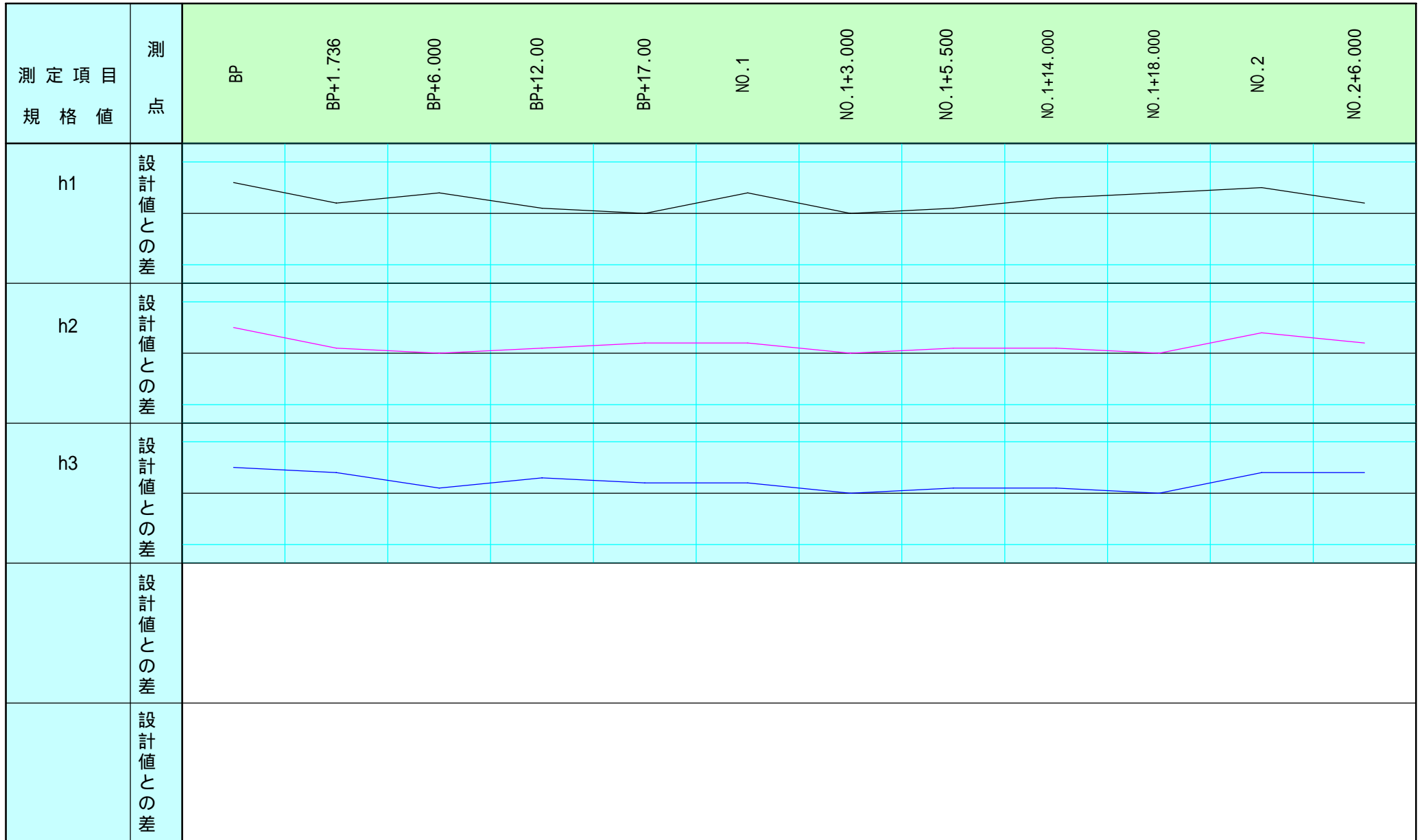
# 出来形管理図（工程能力図）

工種 上層

種別

測定者 日本太郎

印



注) 不要な文字は=で消すこと。

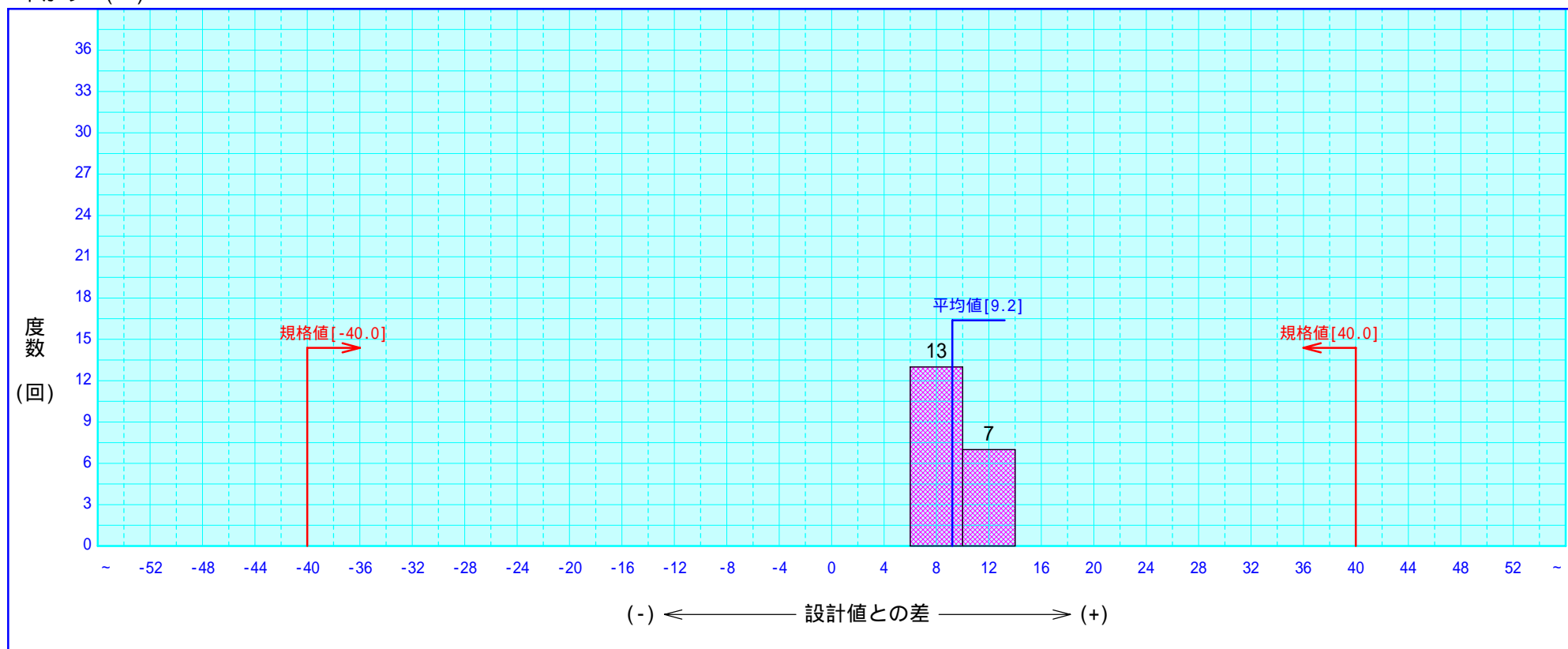


# 路床 度数表

測定者 日本太郎

印

下がり (h2)

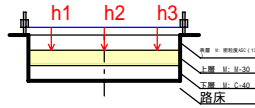


# 測定結果一覧表

工事名 国道 x号線改良工事  
 工種名 上層

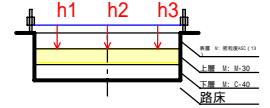
請負会社名 ウェストフィールド(株)  
 測定者 日本太郎 印

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h1

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h2

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	150	156	6	
		BP+1.736	150	152	2	
		BP+6.000	150	154	4	
		BP+12.00	150	151	1	
		BP+17.00	150	150	0	
		NO.1	150	154	4	
		NO.1+3.000	150	150	0	
		NO.1+5.500	150	151	1	
		NO.1+14.000	150	153	3	
		NO.1+18.000	150	154	4	
		NO.2	150	155	5	
		NO.2+6.000	150	152	2	
		NO.2+10.000	150	150	0	
		NO.2+15.000	150	150	0	
		NO.3	150	156	6	
		NO.3+5.000	150	155	5	
		NO.3+10.000	150	153	3	
		NO.3+14.000	150	156	6	
		NO.3+18.000	150	152	2	
		NO.4	150	156	6	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	112	117	5	
		BP+1.736	112	113	1	
		BP+6.000	112	112	0	
		BP+12.00	112	113	1	
		BP+17.00	112	114	2	
		NO.1	112	114	2	
		NO.1+3.000	112	112	0	
		NO.1+5.500	112	113	1	
		NO.1+14.000	112	113	1	
		NO.1+18.000	112	112	0	
		NO.2	112	116	4	
		NO.2+6.000	112	114	2	
		NO.2+10.000	112	115	3	
		NO.2+15.000	112	115	3	
		NO.3	112	115	3	
		NO.3+5.000	112	114	2	
		NO.3+10.000	112	113	1	
		NO.3+14.000	112	115	3	
		NO.3+18.000	112	114	2	
		NO.4	112	117	5	

記入要項

- 「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台(中心線のズレ(e))等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 部分については発注者が記入する。

# 上層 出来形管理図表

工事名 国道 ×号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 測定者 日本太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
mm				

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E = D - C	管理基準値との差 F = A - E	設計値との差				
							-10	-5	0	5	+10
1		BP h1	150	156	6						
		h2	112	117	5						
		h3	150	155	5						
2		BP+1.736 h1	150	152	2						
		h2	112	113	1						
		h3	150	154	4						
3		BP+6.000 h1	150	154	4						
		h2	112	112	0						
		h3	150	151	1						
4		BP+12.00 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	153	3						
5		BP+17.00 h1	150	150	0						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
6		NO.1 h1	150	154	4						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
7		NO.1+3.000 h1	150	150	0						
		h2	112	112	0						
		h3	150	150	0						
8		NO.1+5.500 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	151	1						

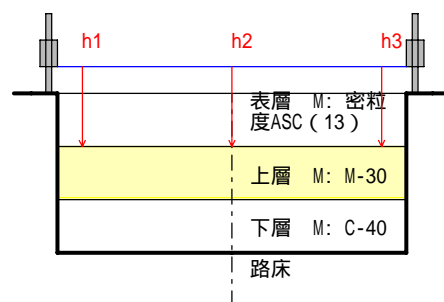
**記入事項**

1. 「工種名」は、掘削 (基準高 (V))、7-4 (厚さ (T))、橋台工 (中心のズレ (e)) 等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1

h2    h3

**測定箇所図**



# アルバム添付用出来形略図

工事名：国道 x号線改良工事

工種	上層	測点	BP	出来形検測
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		156	117	155
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	112	151
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	153
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	112	150
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	151